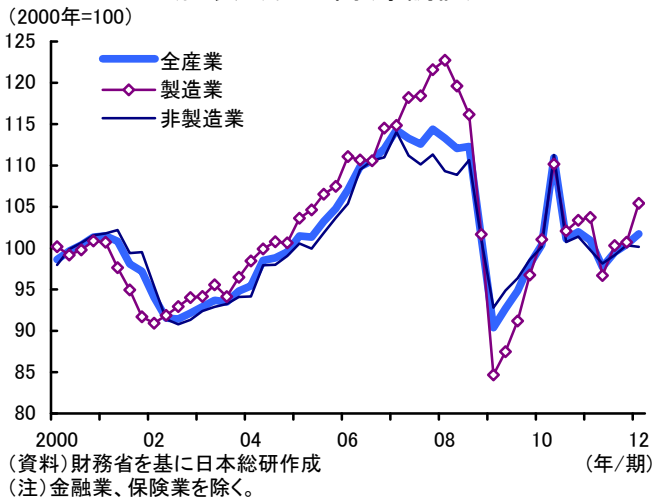


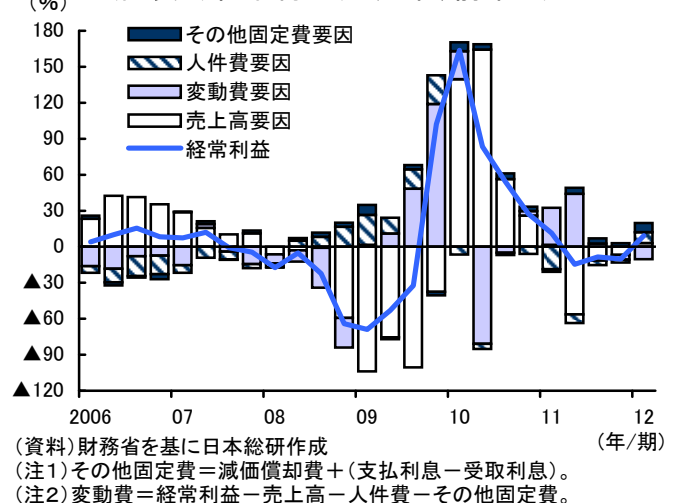
## 1～3月期法人企業統計の評価と2次QE予測

- (1) 1～3月期の法人企業統計季報によると、売上高（全産業、以下同じ）は前期比+1.3%と増勢が加速（図表1）。震災やタイ洪水によるマイナス影響のはく落に伴い製造業が売上増をけん引。経常利益は前期比+9.5%と3四半期連続の増加となり、前年比ベースでもプラス転化（図表2）。もっとも、人件費をはじめとする固定費の減少が利益の押し上げに寄与する一方、企業を取り巻く厳しい環境の持続を背景に売上増による押し上げは限定的。
- (2) 設備投資（ソフトウェアを除く）は前期比▲1.7%と2四半期ぶりに減少（図表3）。業種別に見ると、製造業は震災からの復旧・復興に向けた動きが徐々に本格化していることを背景に3四半期連続で増加。一方、非製造業は前期の大幅増の反動に加えて震災対応投資の一服などにより2四半期ぶりに減少。
- (3) 今般の法人企業統計等を織り込んで改定される1～3月期の実質GDP（2次QE）は、設備投資投資が上方修正される一方、公共投資は下方修正となる見込み。その結果、成長率は前期比年率+5.2%（前期比+1.3%）と1次QE（前期比年率+4.1%、前期比+1.0%）からプラス幅が拡大する見込み（図表4）。

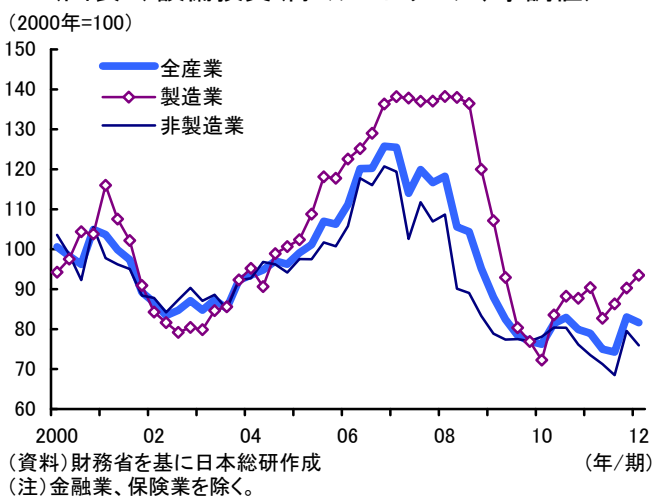
(図表1) 売上高(季調値)



(図表2) 経常利益(全産業、前年比)



(図表3) 設備投資(除くソフトウェア、季調値)



(図表4) 2012年1～3月期GDP統計予測

	1次QE		2次QE	
	前期比	前期比年率	前期比	前期比年率
実質GDP	1.0	4.1	1.3	5.2
内需 (寄与度)	( 0.9)	( 3.5)	( 1.1)	( 4.5)
民間 (寄与度)	( 0.5)	( 2.0)	( 0.8)	( 3.1)
個人消費	1.1	4.4	1.1	4.4
住宅投資	▲1.6	▲6.1	▲1.6	▲6.1
設備投資	▲3.9	▲14.8	▲1.8	▲6.9
民間在庫 (寄与度)	( 0.4)	( 1.7)	( 0.4)	( 1.5)
官公需 (寄与度)	( 0.4)	( 1.5)	( 0.4)	( 1.5)
政府消費	0.7	2.8	0.7	2.8
公共投資	5.4	23.6	5.0	21.5
公的在庫 (寄与度)	(▲0.0)	(▲0.0)	(▲0.0)	(▲0.0)
外需 (寄与度)	( 0.1)	( 0.5)	( 0.1)	( 0.5)
輸出	2.9	12.3	2.9	12.3
輸入	1.9	8.0	1.9	8.0
名目GDP	1.0	4.1	1.3	5.3
GDPデフレーター	0.0	0.1	0.0	0.1
名目GDP <前年同期比>	< 1.4>		< 1.7>	
GDPデフレーター <前年同期比>	<▲1.2>		<▲1.2>	

(資料)内閣府などを基に日本総研作成